

2023 年度事業報告書

第 18 期 （2023 年 8 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日まで）

【全体を通して】

本年度も引き続き、専従のコーディネーターを中心にボランティアの参画を促しながらプロジェクトに取り組む事業チーム制でプロジェクトに取り組んだ 1 年となりました。特に、子ども・若者・親支援チームは、神戸市北区道場町にある「蔵ハウス」を 2024 年4月より無償でお借りし、新たな拠点としてプロジェクトを実施したことで、利用者にとって「居場所」となる場所に育ちつつあります。

すべてのチームにおいて「孤立状態にある人に、どのように出会えるか」という点が共通しており、アウトリーチ的手法を使って「出会い方」を模索した 1 年となったように思います。同時に、支援する対象の人が、さまざまな出会いや体験を通してエンパワメントされ、自身が主体的になっていくようなプログラムづくりにも取り組んできました。いずれの事業でも、現場で出会った人の声を丁寧に聴かせていただくことで、声を出せずに苦しんでいる当事者が安心して関わることができる「まちのセーフティーネット」を市民目線で作っていくことが求められることを実感しており、一つひとつが模索中とはいえ、多様な「参加支援」の実践が積み重ねられているように感じます。

経営面では、さまざまな事業の原資を助成金・補助金であることから、管理部門や共通経費の負担などが十分にできず、持ち出しとなった費用が多くありました。そのため、寄附など多くの支援をいただきながらも、赤字が発生する経営となってしまいました。会員制を含む、法人の基盤整備の在り方を再検討します。

私たちの取り組みに共感してくださる方や、各種プロジェクトに関わってくくださるボランティアさん、ご寄附いただく方々も増えているように感じます。「NPO は社会参加の器である」という視点のもと、参加者一人ひとりを大切に、多様な参加と役割のある出会いの場づくりをこれからも進めてまいります。そして、縁あってこの地にたどりついた人たちが、助けてコミュニケーション力を高め、資源を分かち合って相互に助け合える関係をつくることで、「困った時に、誰かに安心して助けを求めることができる支え合いの社会」を目指して取り組みを進めていきたいと考えています。

※定款と各事業の位置づけ

①市民活動や運営に関する相談事業

相談支援、組織基盤支援、認定 NPO 取得支援

②市民活動に資するネットワーク形成事業

交流会開催（読書カフェ）、子ども支援者連絡会、三田 NPO 連絡協議会、裏六甲子ども居場所ネットワーク

③市民活動に資する人材育成事業

自主／委託セミナー開催、講師派遣、中堅スタッフ育成、子ども支援者研修会

④市民活動に資する情報発信事業

情報誌発行、活動取材・ウェブ発信

⑤まちづくりに資する地域情報化事業

オンライン支援

⑥まちづくりに資するコーディネーション事業

北神日本語教室、外国人アウトリーチ支援、仕事のための日本語、食料配布と相談支援、食材拠点整備、居住支援事業、学生のまちづくり支援

⑦まちづくりに資する子ども・若者支援事業

三田まちの寺子屋「まなびあ」、サタデースクール、北神まなびあ、こども食堂 3 種、長尾児童館支援 ひきこもりオンライン居場所、若者 SNS、孤立・困窮する親の両輪支援、困窮状態にある子どものいる世帯への食支援

⑧前各号に掲げる事業に関する調査研究事業

市民調査支援、居場所研究会、ユースワーク研究会、NPO 評価研究会

市民活動の相談支援

なにか社会に役立つことをしたい、と考える「意欲する」人たちの立ち上げや、継続のための相談支援に取り組んでいます。

【主な予算】

自主/ひょうごボランティア-基金助成

2023 年度の取り組み

市民の「やりたい！」を支援する人材インキュベーション事業として、企画づくりや団体の立ち上げ・運営支援を行いました。運営組織体制づくりのサポートにも取り組んでいます。

また、NPO 法人の解散に関する相談にも対応しました。今後増えていくことが予想されています。

2024 年度に目指したいこと

社会課題の実態を相談者とともに具体化することで、ニーズの「見える化」をサポートします。同時に、「本人が気づく」コミュニケーションを行うことで、プロジェクトの継続的発展をサポートします。

【担当】 大島、佐藤

主な相談支援メニュー

- ・ ネットワークづくりの相談
 - ・ 人材育成の相談
 - ・ マネジメント支援(広報、労務・登記、経理・バックヤード支援、中期計画づくり、IT 活用支援)
 - ・ 企画づくりの相談(助成金・寄附募集支援、報告書作成を含む)
 - ・ 認定 NPO 相談
 - ・ キャリア支援
 - ・ 市民活動団体や NPO 法人の設立支援
- ※<新規立ち上げ>
NPO 法人あしたてんき
／ 自立援助ホームの運営

事務機能支援・組織基盤整備支援

当法人の専門性を活かし、NPO が苦手とする会計や事務支援のサポートに取り組み、組織や活動の活性化を支援します。

【主な予算】

自主事業(委託)

2023 年度に目指したこと

事業企画の立案や継続、運営体制のあり方についてのアドバイス、NPO 関連の制度や事例、助成金等の情報提供、広報の相談支援、人材のコーディネートを実施しました。

また、制度事業で義務化された BCP(事業継続計画)策定支援にも初めて取り組みました。

2024 年度に目指したいこと

認定 NPO 法人を目指したいと他府県の NPO からサポート依頼をいただきました。支援メニューを見える化し、声をかけてもらえやすくなるような工夫を目指します。当法人の運営が苦しいときに仕事をいただいたご縁も忘れず、取り組みます。

【担当】 大島

主な支援メニュー

- ・ (認定)まなびと/認定継続支援、マネジメント支援、放課後児童クラブの運営支援
- ・ (特活)地域社会の健康を支援する会/子ども食堂運営への支援
- ・ (公財)ひょうごコミュニティ財団/神戸市認定 NPO 取得支援事業への専門家派遣
- ・ (公財)非営利組織評価センター/グッドガバナンス評価への評価委員派遣
- ・ (株)Packs デイサービスの事業継続計画(BCP)策定ファシリテーター(~'24.3)
- ・ (特活)三田市手をつなぐ育成会/会計事務所および請求事務全般
- ・ (特活)歴史文化財ネットワークさんだ/会計および事務全般
- ・ さんだ楽語協会/事務全般の支援

基盤強化のための伴走支援モデル構築事業

市民活動が孤立・孤独問題の解消に重要な役割を果たしている前提のもと、このような活動の支援方法について検討します。

【主な予算】
(特活)市民ネットすいた

2023 年度に取り組んだこと

吹田・箕面・豊中・池田・茨木・高槻の中間支援団体と連携し、「北摂ともにプロジェクト」として取り組みました。

【大島】 箕面・豊中の中間支援団体スタッフとともに、ひきこもり者支援に取り組む(一社)いきがいさがし(西宮市)に、6ヶ月継続的な相談支援に取り組みました(チームリーダー)。

【島津】 豊中・吹田の中間支援団体スタッフとともに、子ども服のリユースや若者支援に取り組む(一社)ソーシャルギルド(豊中市)に、継続的な相談支援に取り組みました。

2024 年度に目指したいこと

大島が、事業のスーパーバイザー(SV)として参画します。「相談支援の支援」を行うことで中間支援団体の人材育成に貢献するとともに、言葉が先行する「伴走支援のあり方」に対して、実践を通じた提言を行います。

【担当】 大島、島津

講師派遣・人材育成

NPO運営の課題に応える講座を実施したり、当法人の専門性を活かした講師派遣を行っています。

【主な予算】

自主/ひょうごボランティア-基金助成

2023年度の取り組み

「子どもの居場所」や「子ども食堂」をテーマとした講演依頼を多くいただきました。講座企画は、相談を通して感じたニーズを元に組み立てています。

2024年度に目指したいこと

「市民調査」の専門性を活かした事業展開を考えます。何かに取り組みたいという人たちのきっかけの一つとしての講座企画の可能性を考えていきます。

(主な実績)

【自主講座】

実施日	タイトル・テーマ	講師・ゲスト
2024年2月5日(月) 10:30-12:30	活動の魅力を伝える、ことばを考えるコツ	千馬雅史さん (A-dos シニアコンサルタント)

【講師派遣】

実施日	内容	主催者	派遣者
2023年10月16日(月) 10:00-12:00	当法人の食支援事業の紹介	兵庫県障害福祉課/ひょうごフードサポート	大島
2023年10月24日(火) 14:00-16:00	その「居場所」、子どもに「いい場所」になりますか？～第三者性の視点から考える、子どもの居場所の作り方～	阪神北地区主任児童委員協議会	大島
2023年11月1日(水) 13:00-14:30	「NPO・NGO論」ゲストスピーカー 出会い、つながり、事(コト)が動き出す「場」をつくる ～ゆるやかなネットワークによるまちづくり支援活動の事例を通して	甲南大学文学部 帯谷博明研究室	大島
2023年11月24日(金) 13:00-14:30	子どもの「困った」へ寄り添うために、私にできること ～「子どもの貧困」への理解をアップデートする	三田市民生児童委員協議会	大島
2023年12月16日(土) 13:00-15:00	子どもの居場所づくりを考える (ファシリテーター)	三田市人権を考える会 三田小学校地区地域部会	大島
2024年1月12日(金) 14:00-15:30	その「居場所」、子どもに「いい場所」になりますか？～第三者性の視点から考える、子どもの居場所の作り方～	川西市民生児童委員協議会	大島
2024年2月3日(土) 19:00-20:30	子ども・若者支援について ～「子どもの貧困」と最近の若者事情	三田地区区長会連合会	大島
2024年5月29日(水) 10:00-12:00	活動に活かす アンケートの作り方講座	川西市市民活動センター	大島

まちの読書カフェ

「読書」をキーワードに、人と人がつながる交流会を隔月開催しています。

【主な予算】
自主事業

2023 年度の取り組み

今期も毎月奇数月に定期的で開催しました(15:00-17:00、ほんまち交流館「縁」にて)。

毎回参加される30代~70代の方を中心に運営し、お互いが顔見知りになっていることもあって、助け合いなどの相互コミュニケーションが活発に行われています。

2024 年度に目指したいこと

参加者から書籍提案をいただくなど、参加型の運営をこれからも継続して取り組んでいきます。一方で、新しい参加者を増やすための取り組みを十分に行えていなかったため、積極的な広報を進めていきます。

【担当】 大島

実施内容

- ・ 第64回(2023年9月30日)
中貝宗治(2023)『なぜ豊岡は世界に注目されるのか』、集英社新書
- ・ 第65回(2023年11月25日)
大塚敦子(2023)『動物がくれる力』、岩波新書
- ・ 第66回(2024年1月27日)
小川幸司(2022)『世界史の考え方』、岩波新書
- ・ 第67回(2024年3月30日)
岸見一郎(2023)『泣きたい日の人生相談』、講談社現代新書
- ・ 第68回(2024年5月25日)
産業技術総合研究所(2024)『あっぱれ日本の新発明』、講談社ブルーバックス
- ・ 第69回(2024年7月27日)
北原モコツウナシ(2023)『アイヌもやもや』、303BOOKS

地域イベントへの参加

事務所のある「三田本町通り」や「三田小学校区」で行われる企画に参加・協力して、地域活性化に貢献する取り組みを行います。

【主な予算】
自主事業

2023 年度の取り組み

2023年10月、三田地区でのイベント「しちようまつり」にわた菓子コーナーとして出店し、地域団体と交流を深めました。

また、(特活)ミームが企画する「のきさきだがしや」に事務所前のスペースを提供し、学生団体が店番をする駄菓子屋臨時運営に協力しました。(2024年7月)



2024 年度に目指したいこと

「しちようまつり」や、(特活)ミームが企画する「ほんまち夏祭り」などの地域行事に参加して、子どもたちなどが主体的に企画できる子ども縁日などの場づくりに取り組みます。



【担当】 大島、エン

裏六甲子どもの居場所支援ネットワーク

裏六甲エリア(三田市・神戸市北区・西宮市北部ほか)の子ども・若者支援団体の、ゆるやかなつながりづくりに取り組んでいます

【主な予算】

自主/こども食堂支援センターむすびえ

2023 年度の取り組み

地域課題を共有し検討するとともに、食糧集積や広報、ボランティア人材の“発掘”や専門家資源の共通利用、研修などを相互に取り組み、助け合える仲間づくりを目的として取り組んでいます。本年度は、コミュニティパントリー創設事業と合わせて、企業から提供いただいた食材の地域循環を目指す取り組みを中心に行いました。

主な取り組み

- ・ 公式 LINE「裏六甲子ども支援ネット」による情報発信
- ・ 食材の共同調達・共同利用の取り組み
- ・ ネットワーク会議・交流会
(三田子ども支援者連絡会)

2024 年度に目指したいこと

公式 LINE における情報発信を引き続き行います。また、多様化する「居場所」の在り方を考える学習会を行うとともに、前年度に開催できなかった「圏域ネットワーク交流会」にも取り組みたいと考えています。

【担当】 大島、島津

さんだコミュニティパントリー創設事業

地域の「もったいない」が集まり、必要な人に届けられる食料倉庫「さんだコミュニティパントリー」を作ります

【主な予算】

三田市協働事業提案制度補助金

2023 年度の取り組み

三田食糧精米工場(休業中)の精米所をお借りし、地域の誰もが必要なときに利用できる「コミュニティパントリー」のランドデザインを作り始めました。

同時に、企業からの管理期限後食材/梱包破損商品や、市民農園等からの余剰生産商品を受け入れる倉庫として、運用を始めました。

主な取り組み

- ・ 市内企業からの管理期限後/梱包破損食材の提供(三田市公民連携推進課と協働、作業所ゆうに運搬協力)
- ・ 市民への啓発、食材寄附の依頼

2024 年度に目指したいこと

2025 年度には地域団体「三田じばやん倶楽部」と連携し、拠点運営ができるように準備しています。そのための拠点改修に時間がかかっており、じばやん倶楽部と連携して整備に取り組めます。

【担当】 大島



学生のまちづくり参画支援

社会貢献したい／縁あって三田で暮らしている高校生・大学生の地域活動やボランティア活動参加の促進をしています。

【主な予算】
自主事業

2023 年度の取り組み

関西学院大学の学生を中心に、NPO インターンシップの受入や、地域課題に取り組む学生の調査研究の支援、三田に縁のあった学生の地域活動への参加支援、学生サークルの運営相談などに取り組んでいます。また、学生の生活不安などの相談支援にも取り組み、必要に応じて寄贈食材を提供するなどして対応しました。

2024 年度に目指したいこと

今後、高校の探究学習に関連して、地域課題や NPO に関心を持つ高校生が増えていくことが予想されます。市内の高校と連携し、当法人だけでなく地域ネットワークで子どもたちのまなびを支えていくことができるような取り組みを検討します。

【担当】 大島

主な取り組み

- ・ (特活)ドットジェイピーの「NPO インターンシップ」に協力、学生を受け入れ。(2023 年 8 月～9 月、2 名)
- ・ 三田市役所協働推進課より、「市役所インターンシップ」における NPO と行政の連携についての事例紹介に協力。
- ・ 県立有馬高校全日制及び定時制より、地域課題や NPO に関心ある生徒の相談や活動への参加の依頼があった。
- ・ 県立北摂三田高校 2 年生の探究学習に協力し、子ども食堂の事例を紹介。
- ・ 学生サークルの運営相談支援

生活にお困りごとのある方への食料配付と相談支援事業

物価高の影響などで生活にお困りの神戸市民への食料品等の無償配布 & 生活相談会を開催しています。

【主な予算】
神戸市くらし支援課

2023 年度の取り組み

神戸市福祉局「生活困窮者に対する食料品・生活支援情報の提供事業」の補助対象団体として、2022年11月より毎週実施しています。毎月 1 回、食料配付と専門家による相談支援を行い、神戸市の支援制度情報を提供したり、困りごとに応じて地域の支援団体や行政・制度などにつなげています。

配布スタッフはボランティアを募り、現在約〇人が登録しています。ボランティアスタッフ同士の交流・研鑽を図る研修を定期的に実施し、地域の人材育成にも取り組んでいます。

2024 年度に目指したいこと

事業を通じて地域の様々な支援者とつながってきたことを実感しており、意欲ある支援者と一緒に、北神地域の総合的な支援を行うネットワークの構築を目指したいと考えています。

【担当】 島津、和田、原山、塗田

実施内容

日時： 毎月 1 回(主に土休日午前実施)
場所： 北神区役所、アウトリーチ、その他
募集： 公式 LINE「いけるで！かあちゃん北神戸」での配信、公的機関での手渡し等
参加者数： 毎回 30 世帯



北神日本語教室・外国人ママのための日本語教室

生活日本語の習得を通して、地域住民との交流の機会を創出。
お互いのこと知り学び、人として育ち合うことも目的です。

【主な予算】
神戸国際コミュニティセンター

2023 年度の取り組み

外国人学習者が増加している現状を受け、これまで以上に多様な背景を持ち、参加する学習者の気持ちに寄り添い活動しました。

外国人ママは散在しているが交通が不便な故、参加が難しいのもわかり、家族で参加できるプログラムなどを考える必要があると考えられます。



交通安全講習の様子(有馬警察署協力)

2024 年度に目指したいこと

活動も 5 年目を迎えました。日本語活動にとどまらず、地域資源の1つとしての「北神日本語教室」を知ってもらえる取り組みができればと思っています。加えて、日本語ボランティアの活動を知ってもらえるような啓発活動にも取り組みます。



【外国人学習者】延べ 389 人 【ボランティア】延べ 501 人

多言語地域情報紙「つながり」の発行

制度に関することや地域情報などを日本語、英語、ベトナム語で作成し、外国人を雇用している事業所に届けています。

【主な予算】
中央共同募金会

2023 年度の取り組み

外国人住民が情報を得て、自らの力により地域に出かけ、文化を学んだり、日頃会うことのない人々との交流ができるようにとの願いも込めて、毎号作成しています。読者からは、「母語で読めるので楽しみが増えた」、「日本の生活文化や伝統などを知るきっかけにもなって良かった」との反応もありました。



地域情報等を掲載し、3言語(日、英、越)で作成
2024 年 7 月 31 日の神戸新聞三田版にて
紹介されました。

2024 年度に目指したいこと

先輩外国人住民の方からの話は、外国人住民の定住、定着につながるロールモデルとなるので、そのような方々の話の内容を充実していきたいと考えています。加えて、外国人を雇用する事業所の開拓にも力を注ぎ、より多くの外国人の方々へ情報を届けたいと考えています。

【配布先事業所】24 事業所

生活相談窓口を併設した食料配布事業

円安や物価高で生活状況が厳しい外国人住民への食料支援を行うとともに、日頃の悩みなどを聞く生活相談を行います。

【主な予算】
中央共同募金会

2023 年度の取り組み

日頃の悩みや辛い思いなどを述べられる機会もあり、会場ではリラックスされた様子も窺えました。また、生活状況が苦しいことも述べられ円安や物価高の煽りを日々の暮らしに直撃している状況があることもわかりました。



配布の様子、インドネシアの麺なども用意
2024年6月3日の神戸新聞三田版にて
取り組みが掲載されました。

2024 年度に目指したいこと

2023 年度の相談から、自身の健康に関して知る機会がないことがわかりました。そのことから、健康相談会を自治体の保健センターなどと連携し実施できるように取り組んでいます。また、そこから集まった情報などは自治体と共有し役立てもらえるような連携体制の構築を目指したいと考えています。

【外国人参加者】42 人

アウトリーチ型生活相談事業

外国人住民の生活相談を相談者が暮らす地域に出向いて(アウトリーチ)行います(対応言語は日本語、英語、ベトナム語)。

【主な予算】
中央共同募金会

2023 年度の取り組み

多岐にわたる相談内容の中でも、特に子育てや医療、家族呼び寄せとそれらに付随することが相談案件が多いです。英語とベトナム語のスタッフが外国人からの話に耳を傾け課題解決に導きました。辛そうな相談者も、問題解決を一緒にすることで少しずつ顔色が良くなっていく様子が見られました。

2024 年度に目指したいこと

問題が多岐にわたることで、相談スタッフの研鑽の場を作っていく必要があるのを感じています。また、各自治体の関係部署との連携を深め、外国人住民の課題解決につなげます。平行して、外国人住民にできることはサポートしながら自身で行動してもらいエンパワメントも促していきたいと考えています。

主な相談内容

- ・ 医療・保健 5 件
- ・ 子育て 12 件
- ・ 教育 10 件
- ・ 日本語 6 件
- ・ 在留資格 2 件
- ・ 社会保険・年金 1 件
- ・ その他 10 件

全 46 件

※上記、生活相談窓口を併設した食料配布事業での相談(7件)も含む。

【担当】 本田(日本語)、平田(英語)、エン(ベトナム語)

子ども 若者支援 事業

三田まちの寺子屋「まなびあ」

子どもの声を聴き、寄り添いながら自分のやりたいことに取り
組む居場所・サードプレイスとしての学習支援の場です。

【主な予算】

自主/三田市人権を考える会/三田市社会福祉協議会

2023 年度の取り組み

地域の子どもの地域で支える仕組みづくりを目指し、主に生活困窮家庭・ひとり親家庭の子どもや不登校児者の学校外教育の提供を目的に、地域住民と協働で2013年8月に立ち上げ、12年目になりました。学生ボランティアも多く参加しており、地域活動のきっかけとなっています。

子どもたちが仲間を呼んで参加することが多く、子どもたちにとっての「地域の居場所」として定着してきました。

2024 年度に目指したいこと

「誰もが参加できること」と、「課題を抱えている子」や「居場所が必要な子」との両立に課題を抱えています。誰をも排除することなく、それぞれが共存できる環境づくりを検討します。

【担当】 大島、中嶋

実施内容

日時： 毎週水曜日・金曜日 15:30-18:30

場所： 三田じばやん倶楽部(三田市三田町 21-12)

参加： 子ども 約10人/回

ボランティア 約5人/回



子ども 若者支援 事業

北神まなびあ

経済的にしんどさを抱える家庭の子を対象とした無料学習支援
です。子どもの自己決定を大切にしています。

【主な予算】

神戸市子ども未来課

2023 年度の取り組み

神戸市「学びへつなぐ地域型学習支援事業」の北区補助対象団体として、2023年7月より実施しています。

現在、大学生からシニア世代までのボランティアが中学生に勉強を教えるだけでなく、工作や意思決定ゲームなど対話をベースにしたワークショップにも取り組んでいます。ボランティア募集サイト「activo」にページを作り、希望者を募っています。

2024 年度に目指したいこと

「勉強を教えたい」ボランティア希望者に、自己肯定感を十分に持てない子どもの現状を伝え、寄り添いの必要性を伝えながら活動に取り組んでいきます。また、「学習」と「くらし」の接続を意識した取り組みも行います。

【担当】 大島

実施内容

日時： 毎週日曜日 13:30-16:00

場所： 北神区文化センター、または、
デイサービス「サニーリハトレセンター」

参加： 子ども 約15人/回(登録21人)

ボランティア 約12人/回(登録25人)



子ども食堂「まかないキッチン」

「子どもたちが安心して思いを吐き出せる場を作る」ことを目的
に、カレーとサラダ、デザートを用意しています。

【主な予算】
自主/フードバンク関西(食材支援)

2023 年度の取り組み

子どもたちの口コミで参加者が集まることに加え、三田小学校の協力・連携で気になる家庭の子どもにチラシを配ってもらっており、学校で見せる顔とは異なる様子で参加しています。食後には近くの公園で鬼ごっこするなど、活発に動いています。調理担当のスタッフ 4 人、子どもの相手中心のスタッフ約 10 人など、それぞれの得意とする内容で活動に携わっています。

2024 年度に目指したいこと

人数が増えることで、「子どもの声」を聞きにくくなっているおそれがあるため、1 対 1 で話せる場面を意識的に作っていくように心がけます。加えて、多機関連携のもと、声の届きにくい家庭にも情報が届くように声掛けしていきます。

【担当】 大島、大東、中嶋、SSV 関西学院

実施内容

日時： 毎月最終金曜日 18:00-20:00
場所： 三田じばやん倶楽部(三田市三田町 21-12)
参加： 子ども 約 50 人、高齢者約 10 人
ボランティア 約 15 人(各回参加者)



チャレンジキッチン・ファストキッチン

その場にある食材を使い、子どもたちが自ら献立を考えて助け合いながら作る非構成的な料理教室を実施しています。

【主な予算】
自主事業/こども家庭庁

2023 年度の取り組み

子ども食堂が「作ってもらったものを食べるだけ」で終わりがちなため、自分たちが主体的に考え、調理に取り組めるような「子どもの食の自立支援」を目指した料理企画です。チャレンジキッチンでは、大人の見守りのもと、子どもたちが役割分担し、時間をかけて調理に取り組めます。ファストキッチンでは、(株)吉野家から提供いただく牛丼弁当(※)への付け合せとなるサラダと味噌汁を、学生ボランティア見守りのもと、時間重視/即席で作っています。

2024 年度に目指したいこと

参加者の年齢が幅広くなっているため、個々に応じた目標設定と、調理が目的化しないよう目的の共有を丁寧に行います。

【担当】 大島、大東、中嶋、SSV 関西学院

実施内容

日時： [チャ] 毎月第 2 土曜日 15:30-19:30
[ファ] 毎月第 3 水曜日 17:15-19:15
場所： 三田じばやん倶楽部(三田市三田町 21-12)
参加： 子ども 約 10 人/回
ボランティア 約 5 人/回



※西宮市上山口東自治会「子ども食堂“みんなあつまれ”」とフラワータウン地区住民有志による集いの場、三田市保護司会、緑ヶ丘子ども食堂と連携し、吉野家さんから牛丼弁当をいただいています。

まなびあサタデースクール

普段まなびあに参加できない子たちが気軽に来れるよう、土休日に、学校外での体験活動の提供を目的に実施しています。

【主な予算】
自主事業

2023 年度の取り組み

子どもたちの想像力や感受性が活きるような、5教科の学習とは異なるまなびの場を作ってきました(これまで 40 企画を実施)。非日常のイベントだからこそできる「楽しさ」を大切に取り組んでいます。また、学生ボランティアの「やってみたい」を企画化する支援を通して、担い手づくりにも貢献しています。

2024 年度に目指したいこと

夏休み企画として「アイデアクラフト vol.2～たたき染めでトートバッグづくり」や「大学生と自由研究～カップケーキはどうして膨らむの？」を実施するなど、学生のアイデアを活かした企画を今後も実施していきます。

また、プログラミング企画は今年度できなかったもので、新年度には実践したいと考えています。

【担当】 大島、SSV 関西学院

実施内容

アイデアクラフト vol.1 「粘土で君だけのキャラクターを作ろう」

日時： 2024 年 5 月 11 日(土)13:30～15:30

場所： ほんまち交流館「縁」(三田市三田町29-14)

参加者： 未就学児・小学生 9 人



長尾児童館「子どもヘルパー」支援

社会に役立ちたいと考える小学生「子どもヘルパー」の児童館活動を、地域の大学生と連携してサポートしています。

【主な予算】
自主事業

2023 年度の取り組み

子どもの社会貢献意欲の醸成および実践の場づくりと、地域の伝統行事の伝承を目的とした児童館活動として実施しており、当法人は 2019 年 6 月から参画しています。

子ども支援に関心ある大学生や地域住民を募集し、長尾小学校 4～6 年生児童約 15 人による自主企画やグループ学習へのサポート、ワークショップを実施しています。

2024 年度に目指したいこと

児童館へのアクセスの難しさもあってか、新規参加の大学生が減少傾向にあります。参加のしやすさの工夫を検討するとともに、活動の魅力や意義の発信を改善したいと考えています。

【担当】 大島、中嶋、SSV 関西学院

実施内容

5 月募集開始、7 月に初回顔合わせ

夏休み自主企画・秋の地域行事への参加

赤い羽根共同募金活動

冬の地域行事(もちつき、しめ縄づくり、とんど)への協力・参加 など



ひきこもり状態にある人を対象としたオンライン居場所

ひきこもり・不登校状態にある人を対象に、Zoom を活用して、参加者同士で気軽に話ができる場を提供しています。

【主な予算】
兵庫県福祉局

2023 年度の取り組み

ひきこもり等の状態にある方を対象に、毎月1回、趣味や季節に応じたテーマを設けたオンライン居場所を開設しています。

ファシリテーターを置いて、おしゃべりしたりチャットでコミュニケーションを取ることで、気軽に社会とのつながりを持つことができる場となっています。顔出しなしを可としているので、参加者も本音で話をし、話の共通点がある者同士でのトークも展開され、オンラインのメリットが活かされています。

【担当】 島津

実施内容

日時： 月1回1時間（主に毎月第4月曜日 17:00-18:00）
場所： オンライン(zoom を使用)
参加者数： 毎回約 4 人

2024 年度に目指したいこと

事業も3年目となり、ファシリテーターが中心に動かしているが、参加者が主体となって展開できる場になるようにしていきたいと思っています。



生活に困窮する若者の相談支援事業

物価高などの影響で生活に困窮する、神戸市内在住の若者に SNS 等での相談支援を通じて、必要な支援へつなげています。

【主な予算】
神戸市くらし支援課

2023 年度の取り組み

神戸市福祉局「生活に困窮する若者の相談支援事業」の補助対象団体として、2022 年 11 月より実施。市内在住・在学・在勤の 10 代・20 代を対象に、公式 LINE アカウントを活用し、様々な支援情報の配信や、チャット機能を用いた個別相談支援を行い、困りごとに応じて地域の支援団体や行政・制度などにつなげています。また、今後 SNS 相談の需要を見込み、専門の講師による研修等を実施し、人材育成も行いました。

2024 年度に目指したいこと

未来の担い手である若者へ将来への希望を見出すサポートを行うことで、そのような若者と一緒に様々な企画を行うことで、若者が地域や地域課題に関心を持ち、地域の活動に参画へとつなげていきたいと思っています。

【担当】 島津、大島、足達、塗田

実施内容

日時： 随時相談を受け付けています。
場所： 公式 LINE「きつとチャット KOBE」
登録者数： 473 人



事業チラシ



公式 LINE の画面

子育て世帯への食を通じたつながり支援

生活が厳しい状況にある子育て世帯に対して食品等の提供や、相談対応を行い、様々な子育て世帯との関係を構築します。

【主な予算】
神戸市子ども未来課

2023 年度の取り組み

神戸市「子育て世帯への食を通じたつながり支援事業」の北神区補助対象団体として、2023年4月より実施しています。食配布をきっかけに、関係性を構築し、必要に応じて地域や行政等の支援機関につないでいます。

2024年4月からは拠点を設け、週2回配布を行いました。定期的に地域の方のご協力によるイベント等も行うことで地域の支援者やボランティアの活躍の場ともなり、利用者や地域の支援者にとっての「居場所」となりつつあります。

実施内容

日時： 毎週水・木曜日 15:00-18:00
場所： 自然塾 蔵ハウス(神戸市北区道場町)
参加者数： 毎週 約 50 世帯
(登録 約 200 世帯)



参加者同士が一緒に取り組むことで、関係性の構築を目指しています。(蔵ハウスにて)

2024 年度に目指したいこと

食支援を通じて出会った母親に、その人らしい自立とは何かを、一緒に考え、サポートを強化していきたいと思えます。

【担当】 島津、和田、原山

SNS と地域のお節介人によるハイブリッド支援

子育て中の母親の孤立防止を目的に、SNS によるオンライン支援とリアルな居場所の両軸から支援する体制構築に取り組みました。

【主な予算】
中央共同募金会

2023 年度の取り組み (23 年 8 月～24 年 3 月)

家族関係や自身の就労、家計など、生活における多様な困りごとを、一人で抱え込まずに安心して相談できる地域づくりを目指して取り組みました。

オンラインでは、公式 LINE のチャット機能を活用し、いつでも心のモヤモヤを吐き出せる SNS 相談に取り組み、つぎやきに寄り添いながら、リアルな居場所や食料配布会などの対面での活動につながりました。また、「地域のお節介人」として新たな支援者の発掘と支援者の見える化を目指しました。

実施内容

日時： 随時
場所： 公式 LINE「いけるで！かあちゃん北神戸」
登録者数： 385 人



公式 LINE の画面と個別配信の状況

2024 年度に目指したいこと

子育て中の親は被支援者である一方で、地域の担い手でもあります。当事者からの相談を通してともに地域のことを考え、何らかの役割と出番につながるような支援を目指します。

【担当】 島津、大島、和田

※当法人の各種情報発信一覧

メインホームページ

<https://batotsunagari.net/>



多言語情報サイト「つながり」

<https://tsunagari-fr.net/>



裏六甲子ども支援ネット
公式 LINE アカウント
LINE ID:@591ufrmv



三田まちの寺子屋「まなびあ」
Facebook

<https://www.facebook.com/sanda.manavia/>



Instagram

<https://www.instagram.com/batunagari/>



北神日本語教室 Facebook

<https://www.facebook.com/hokushinnihongokyoushitsu/>



いけるで! かーちゃん北神戸PJ
公式 LINE アカウント
LINE ID:@426hwkry



北神まなびあ
Facebook

<https://www.facebook.com/hokushin.manavia/>



Facebook

<https://www.facebook.com/batotsunagari/>



ベトナム語情報 Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100081397306085>



青少年なんでもサポート「きつとチャット KOBE」

<https://sites.google.com/batotsunagari.net/kobekitchat/>



ほっこり縁側ひろば

<https://sites.google.com/batotsunagari.net/engawa-hiroba/>



※その他の取り組み

◆ 居住支援事業(ひょうご住まいづくり協議会助成)

- シングルペアレント家庭や在住外国人、一人暮らし大学生などからの相談が増えてきたことを受け、「住まい」に困りごとを持つ人に対し、居住相談や、不動産会社への同行、地域生活への定着支援に取り組んでいます。
- 国土交通省による「居住支援法人」に登録し、制度事業に取り組めるように準備します。

◆ 企業の社会貢献活動(CSR)への協力・支援

- CSR に関する相談支援を通して、企業と地域のつながりづくりに協力しました。
- 社員ボランティアの参加や、フードパントリー・子ども縁日への協力、食料配布会活動企画への参加などのコーディネートを実施しました。

■ 管理および法人運営部門

1. 会員の状況

正会員は、期初時点から1名増で22名。賛助会員は、期初時点から3名増で20名となっている。

2. 寄附の状況

当法人の活動に賛同してくださった市民からの寄附を今年も多くいただいた。また、今後の活動に充ててほしいと活動謝金をそのまま寄附してくださった方もいらっしゃる、このようなお気持ちに応えた取り組みを進めていきたい。

「Amazon ほしいものリスト」を引き続き活用し、ご寄附いただいたパック米やお菓子などを困窮世帯(学生や若者、ひとり親家庭・多子世帯家庭など)にお届けしている。寄附者名は把握できるものの、住所等の連絡先がわからないシステムのため、法人 SNS を通してお礼のメッセージを発信している。



アマゾンほしいものリスト

3. 会議に関する事項

総会および理事会を下記の通り実施。理事会ではメーリングリストで情報共有・意見交換を適宜行っている。

【通常総会】2023年10月21日 / 三田ほんまち交流館「縁」

【理事会】2023年9月19日、10月12日、2024年2月27日、7月29日 / いずれも zoom

4. 職員体制

事務局長・統括	大島 一晃 (法人理事)	
国際事業部	本田 文代 (週2日)	ドウ・シ・ハ・エン (週2日)
	平田 利枝 (週2日)	
子ども・若者支援部	島津 恵美 (週5日)	足達 龍彦 (週1日) *主に在宅
	和田あさみ (週1日)	原山 美樹 (週2日) *2024年4月から
	塗田 祐子 (週2日)	*2024年4月から

また、当法人はプロジェクトごとに多くのボランティアの参加・協力によって運営されている。

情報発信部門(ホームページ管理)	井上 義則 (法人正会員)
子ども・若者支援 (まなびあ)	中嶋 和哉、SSV 関西学院
事務所管理部門	中西尚美 (法人正会員)

5. 他団体との連携・協力

以下の組織・ネットワークに所属し、適宜情報交換や事業連携を行っている。

- 車瀬橋商店街
- 三田小学校コミュニティスクール運営協議会 運営委員【大島】
- 三田本町通商店街(準会員)
- ひょうごみんなで支え合い基金 運営委員【大島】
- 三田市商工会
- コープともしびボランティア振興財団 運営委員【大島】
- ひょうご子育てコミュニティ
- 三田市地域福祉審議会 / 三田市子ども審議会 委員【大島】
- ひょうご市民活動協議会
- 神戸市認定 NPO 取得支援アドバイザー【大島】
- 三田地区県民交流広場
- (公財)非営利組織評価センター グッドガバナンス評価委員【大島】
- 「じばやん倶楽部」運営委員
- 兵庫県 14 期県民生活審議会 委員【本田】